

0180 | 音楽論

4 単位（通信授業 4 単位）

白石美雪教授、下迫真理講師

授業の概要と目標

美術大学の学生にとって、音楽とはどのような存在であろうか。音楽を日々の生活の大切な友としている学生もいれば、あまり音楽に興味がない学生もいるだろう。「音楽論」の授業では、時代、国、ジャンルといった枠組みにとらわれることなく、「音楽とは何か」「声」「楽器」「音楽の伝え方」「音楽とパフォーマンス」「聴取とメディア」「音楽と想像力」「音楽を語る」「21 世紀における音楽の諸相」といった観点から音楽文化を広く見渡していく。

音楽に親しんでいる学生は、これまでとは異なる音楽への視点を得て、自らの音楽観を一層深みのあるものにしていただきたい。あまり音楽に馴染みのない学生については、本科履修が、音楽の世界の探究を始める切っ掛けになることを願う。

課題の概要

○通信授業課題 1～4

教科書を以下のように 4 つに分け、各部分を各回（全 4 回）の課題にあてる。

課題 1 序章～第 1 章

課題 2 第 2 章～第 4 章

課題 3 第 5 章～第 7 章

課題 4 第 8 章～終章

該当部分に記されている音楽家、楽曲、術語、内容などと関連づけて独自のテーマを設定し、論述する。作成の上での留意点：

- ・テーマ設定の切っ掛けとなった教科書の部分（章や節など）をレポートの冒頭に記すこと。
- ・テーマと関連のある音・音楽を聴き、それについて感じたこと・考えたことを記すこと。
- ・本論の内容を簡潔に示すタイトルを考え、「課題」欄に記すこと。
- ・論考作成にあたって参照した音源、資料のデータを記すこと。

授業計画

序章 第 1 章「音楽とは何か」 第 2 章「声」 第 3 章「楽器」 第 4 章「音楽の伝え方」 第 5 章「音楽とパフォーマンス」 第 6 章「聴取とメディア」 第 7 章「音楽と想像力」 第 8 章「音楽を語る」 第 9 章「21 世紀における音楽の諸相」 おわりに（終章）

成績評価の方法

◎科目試験

教科書の内容を理解した上で、独自の考察・探究を深めて臨んで欲しい。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] なし

[備 考] 履修年次は問わない。

教材等

教科書：白石美雪編『音楽論』（武蔵野美術大学出版局 2016 年）

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 平成 29 年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年）